『薬物治療塾』

Webでの遠隔講義にて開催決定

講義要項（第15期後期コース：2024/5～2024/9）

対象	コース	定員
全ての薬剤師 （後期コースからの受講も可能）	PK/PD応用コース　【A-2】	40名
	臨床統計中級コース　【B-2】	40名
	薬物治療評価コース　【C-2】	40名
A～Cコースいずれかを 既に受講されている方	自らが取り組む新医薬品の 客観的評価コース　【D-2】	15名

各コースそれぞれ
前期 5回・後期 5回
13:10～16:20の3時間
（休憩10分含む）
各コースは月1回日曜日開催します
（今期は**祝日開催**もあるためHPの開催日程をご確認下さい。）

会費：
A～Cコース5回分（15時間）
一般会費 6,000円
特別会費(＊) 4,000円

Dコース5回分（15時間）
一律 2,000円

※ 現在、Web遠隔講義をおこなっていることから、会費を通常より割り引いております。

特別会費（＊）対象者：
•日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会会員
•薬物治療モニタリング研究会会員
•明治薬科大学大学院臨床薬学専攻修了者

申し込み方法：
詳細はHPをご覧下さい
http://plaza.umin.ac.jp/~juku-PT/

3月11日より
第15期後期コース
受講者募集開始

講義概要（いずれも講義と演習のスタイル）

A-2コース：投与設計に必要な速度論の概念、基礎を“Winter; basic clinical pharmacokinetics; basic principles”を基に講義し、クリアランス理論から見た速度論の限界にも言及します。後半は、PK/PDモデルの概念、基礎を講義します。

B-2コース：多変量解析やメタ解析など、臨床試験論文を参照した際によく見かける統計手法・用語についての理解を深めます。統計理論を数学的に学ぶのではなく、一見無機質な統計解析データを柔軟に読み取ることが目的です。

C-2コース：臨床でよく遭遇するCommon Diseasesを題材に、症例に基づいて、薬剤師の視点から薬物治療を評価・立案する際の基本的な考え方を身につけます。疾病治療の知識の獲得ではなく、今後遭遇する様々な症例に薬剤師として対応するための基本スキルの獲得が目的です。

D-2コース：本コースは既にA～Cコースのいずれかを受講された方々による自主運営のコースです。A～Cコースで学んだ臨床薬物動態、統計、文献評価の知識をもとに、実臨床で使われている医薬品の有効性・安全性に関する全体像の把握に取り組みます。それらの取り組みを通して、医薬品の有効性・安全性、更にそれらの医薬品情報に対する客観的な評価能力を身につけ、医療者に適切に情報提供が行えることを目指します。
具体的には、比較的新しい医薬品を取り上げ、承認時の情報（企業のインタビューフォーム、公表されている臨床試験の論文、PMDAの審査報告書・医薬品リスク管理計画書、企業の出している医薬品パンフレット）を検討対象に薬物動態（PK）の特徴づけ、論文の批判的吟味、審査内容の吟味、市販後のリスク管理における問題点、企業からの医薬品情報内容の妥当性などを、それぞれの評価シートをもとに評価していきます。そしてこれらの客観的評価をもとに、臨床現場で新医薬品の使用における有効性、安全性情報を活用していける力を養うことを目指します。

代表　緒方宏泰（明治薬科大学 名誉教授）